

第 98 回 春のすぎなみ区民歩こう会 ワンポイント・ガイド

一水と緑と公園の散歩道一

平成 30 年 5 月

仙 川

仙川(せんかわ)は、東京の西部を流れる延長 20.9kmの一級河川。多摩川水系。二子玉川付近で野川に合流し多摩川に入る。

丸池公園にはかつて丸池という湧水池があり、たくさんの水が湧いていたことから千釜と呼ばれ、この千釜という言葉が仙川の由来といわれている。

水源は小金井市貫井北町で東京都による立札が設置されている。昭和 30 年代には周囲に湧き水を見ることができたが、現在仙川の源流は消滅している。三鷹市役所近くの野川宿橋から川幅が広がり、地下から汲み上げた水を放流している。ここが現在確立された最初の水源である。少し下流で、三鷹市東部下水処理場の高度処理水が放流され、国道 20 号や旧甲州街道、京王線と交差、小田急線をくぐり、東名高速と交差し、世田谷区鎌田で野川に合流する。

禅林寺

東京都三鷹市にある黄檗宗(隠元禅師)の寺院である。江戸時代初期 明暦の大火によって移住させられてきた神田連雀町の町民が創建。

寺は、三鷹市域のほぼ中央に位置し、境内には玉川上水に入水した太宰治の墓がある。

墓は同寺に移転してきた森鷗外の墓の向かいに、鷗外を尊敬していた太宰自身の希望により建てられた。毎年遺体発見の 6 月 19 日を命日とし桜桃忌(おうとう忌)が開かれる。

禅林寺では、住民の利便を計り、大正 13 年(1924)三鷹駅設置に寺有地を提供し、地元の発展に貢献した。



明暦の大火と三鷹市下連雀

明暦の大火(振袖火事 明暦 3 年(1657))は外堀以内のほぼ全域、天守閣を含む江戸城や多数の大名屋敷、市街地の大半が焼失し、死者数については 3 万から 10 万人と記録されている。

明暦の大火を契機に江戸の都市改造が行われ、御三家の屋敷が江戸城外に転出するとともに、それに伴って武家屋敷・大名屋敷、寺社が移転した。

また、防災事業として千住大橋のほかに隅田川の架橋(両国橋や永代橋など)が行われ、隅田川東岸に深川など市街地が拡大される共に、吉祥寺や下連雀など郊外への移住も進んだ。

これが現在の三鷹市下連雀のはじまりである。更に、防災への取り組みも行われ、火除地や延焼を遮断する防火線として広小路が設置された。現在でも上野広小路などの地名が残っている。幕府は、防火のための建築規制を施行した。耐火建築として土蔵造や瓦葺屋根を奨励した。

鷹場標石

江戸城を中心に 5 里(およそ 20 キロメートル)以内は幕府の鷹場で、これより西が尾張徳川家の鷹場だった。三鷹はその境界にあり、「従是東西北尾張殿鷹場」などの文字が刻まれた境界を示す標石が、明和 7 年(1770)ごろに建てられた。現在、市役所南側の雑木林内、大沢の長久寺境内、野崎の吉野家門前に各 1 本ずつある。「三鷹」という地名は、明治 22 年(1889)に、野方・世田谷・府中の 3 領に分かれていた鷹場の 10 の村々が合併し名づけられた。

鷹狩り

鷹狩りがもっとも盛んになったのは江戸時代。徳川家康が鷹を独占した後、3 代将軍家光と



8代将軍吉宗の時代には鷹場を設置し、鷹狩りの法律を定めて幕府自ら管理するようになった。鷹狩りが、武士たちの間で盛んになった主な理由。

1:鷹狩りが戦の練習として最適 2:鷹狩りと称して領地視察を行った 3:健康維持に役立つ
家康は天下統一を成し遂げた後、鷹狩りに使う鷹の売買を禁止した。鷹はすべて徳川の独占となり、鷹狩りは権威の象徴となった。

仙川公園・丸池公園

仙川を挟んで西と東に広がる緑の豊かな公園。整備されている部分もあるが、自然を活かした部分が多く、雑木林、広場、川に沿った遊歩道もある。

北村西望作の平和の像があり、長崎に来たのかと錯覚する人もいる。三鷹市が目指す平和のシンボルをみることができる。近づくとも長崎の「平和の像」のミニチュア版の銅像が見える。



勝淵神社 (かつぶちじんじや)

天正 11 年(1583)織田信長の重臣柴田勝家は賤ヶ岳しずがたけの戦いに敗れ北ノ庄城にて自刃した。その折、孫の権六郎(三才)に愛用の兜を与えのがす。権六郎 16 才にして元服、柴田三左門勝重と名乗る。徳川家康に仕え、慶長 5 年(1600)の関ヶ原の戦いで初陣、大阪冬の陣、大阪夏の陣に従軍。その戦功により武蔵国多摩郡上仙川村(現新川)に居を構え、社殿を建立。その傍らに祖父勝家公より与えられた黄金の兜を鎮めて、神霊とし、社号を勝淵明神とした。以来 400 年、村の鎮守として村民の崇敬の念篤く代々の氏子会により護持されている。

祖師谷公園

祖師谷公園(そしがやこうえん)は、昭和 50 年(1975)旧東京教育大学の農場跡地を中心に、都立「祖師谷公園」として開園した。仙川が園内を南北に流れ、公園は東西に分かれている。造成は完了しておらず、現在も周囲の公園整備が進められている。

東宝スタジオ

世田谷区 成城・砧にある東宝の映画・テレビのスタジオであることから、東宝撮影所、砧撮影所と通称される。日本国内の撮影スタジオでは最大規模。

創設以来、東宝スタジオでは、「七人の侍」を初めとする黒澤明監督のほとんどの作品、「ゴジラ」「モスラ」を初めとする怪獣映画シリーズ、「青い山脈」「細雪」といった日本映画を代表する名作が生み出されている。

大蔵運動公園・砧公園

大蔵運動公園は世田谷区立総合運動施設。2020 年東京オリンピックに参加するアメリカ陸上チームのキャンプ場として決定した。

砧公園は元ゴルフ場あとで東京ドームの 8.4 個分の広さを誇る自然豊かな公園。つり橋もあれば、森の中を歩いているような感覚のところも沢山あり、ジョギングコースも多い。公園内には高級なレストランや美術館 などもある。

昭和 30 年(1955)『東京都砧ゴルフ場』として公用を開始。プロゴルファー樋口久子(日本女子プロゴルフ協会 元会長)は、ここで中村寅吉と出会い弟子入り。

昭和 32 年(1958)砧公園開園。面積 39 万 1200 m²。昭和 41 年(1966) ゴルフ場閉鎖。

